



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月30日

上場会社名 スパークス・グループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8739 URL <https://www.sparx.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 グループCEO (氏名) 阿部 修平
 グループCIO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 グループ上席執行役員 (氏名) 峰松 洋志 TEL 03-6711-9100
 グループCFO
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有 2026年1月30日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。
 決算説明会開催の有無：有 決算補足資料を開示した後、当社ウェブサイト上で映像配信の形で決算説明させていただきます。

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	13,684	5.7	6,062	13.8	5,968	9.0	4,473	34.7
2025年3月期第3四半期	12,944	10.1	5,326	5.3	5,473	5.3	3,321	△26.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 6,527百万円 (69.7%) 2025年3月期第3四半期 3,845百万円 (△31.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	113.06	—
2025年3月期第3四半期	83.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	53,285	37,043	69.5	937.34
2025年3月期	49,939	33,507	67.1	845.64

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 37,043百万円 2025年3月期 33,507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	68.00	68.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	90.00	90.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注2) 2026年3月期の配当予想につきましては、本日（2026年1月30日）公表いたしました「2026年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

当社グループの主たる事業である投信投資顧問業は、業績が経済情勢や相場環境によって大きな影響を受ける状況にあるため将来の業績予想は難しいと認識しております。

なお、当社グループの重要な経営指標の一つである運用資産残高につきましては、原則として毎月月初5営業日以内に、前月末速報値を別途開示しておりますのでご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	41,507,780株	2025年3月期	41,705,480株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,988,679株	2025年3月期	2,081,899株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	39,564,045株	2025年3月期3Q	39,777,772株

（注1）当社は、2025年6月30日付で自己株式の消却（197,700株）を行っております。

（注2）期末自己株式数には、株式付与E S O P信託及び役員向け株式交付信託が所有する当社株式を含めております（2026年3月期3Q 1,327,929株、2025年3月期 1,421,389株）。

また、期中平均株式数の計算においては、株式付与E S O P信託及び役員向け株式交付信託が所有する当社株式を、控除する自己株式に含めております（2026年3月期3Q 1,332,687株、2025年3月期3Q 1,449,660株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の変動に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期の日本株式市場は、米国の通商・金融政策や中東情勢といった外部要因の影響を受けつつも、米国の利下げ観測、円安の進行、国内企業の好業績、関税緩和への期待、日銀及び米国連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策の安定などを背景にリスク選好が強まり、全体として上昇基調を維持しました。特に夏場以降は、米中・日米間の通商交渉が前進したことに加え、生成AI関連を中心としたハイテク株の上昇が相場を押し上げ、日経平均株価は秋口にかけて史上最高値を更新するなど、堅調な推移が続きました。さらに、自民党総裁選で高市氏が選出され、積極財政や成長投資を掲げた政策方針が市場に好感されると、日経平均株価は史上初となる5万円台を突破するなど、強い上昇となりました。一方、AI関連銘柄を中心に過熱感が意識され利益確定売りが優勢となったほか、米国連邦公開市場委員会（FOMC）や日銀会合の前には金融政策を巡る不透明感から調整局面となる場面もみられました。当第3四半期末にかけては、これら主要イベントが通過したことで不透明感が後退し、底堅さを維持しました。その結果、日経平均株価は前期末比41.3%の大幅上昇となり、50,339.48円と過去最高値圏で取引を終えました。

このような市場環境のもと、当社グループの当第3四半期末運用資産残高は、2兆2,334億円（注1）と前期末に比して19.3%増となりました。

当第3四半期における残高報酬（注2）は前年同期比0.8%増の120億92百万円となりました。また、成功報酬（注3）は、前年同期比85.2%増の15億円となり、営業収益は前年同期比5.7%増の136億84百万円となりました。

営業費用及び一般管理費に関しては、前年同期比0.1%増の76億21百万円となりました。これは、主に公募投信の平均運用資産残高減少に伴う支払手数料の減少があるものの、本社オフィスの増床等に伴う減価償却費の増加及び人件費の増加によるものです。

この結果、前年同期比で営業利益は13.8%増の60億62百万円、経常利益は9.0%増の59億68百万円となりました。また、投資有価証券売却益7億77百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比34.7%増の44億73百万円となりました。

なお、事業の持続的かつ安定的な基盤となる収益力を示す指標である基礎収益（注4）は前年同期比0.8%増の53億8百万円（前年同期は52億65百万円）となりました。

（注1）当第3四半期末（2025年12月末）運用資産残高は速報値であります。

（注2）残高報酬には、日本再生可能エネルギー投資戦略に関連する発電所等の管理報酬を含んでおります。

（注3）成功報酬には、株式運用から発生する報酬の他、日本再生可能エネルギー投資戦略に関連する発電所スキームの組成の対価等として受ける一時的な報酬（アクイジションフィー）を含んでおります。

（注4）基礎収益とは、経常的に発生する残高報酬（手数料控除後）の金額から経常的経費を差し引いた金額であり、当社グループの最も重要な指標のひとつであります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて33億46百万円増加し、532億85百万円となりました。主な増減内訳は、現金・預金が54億90百万円の減少、未収入金が8億78百万円の増加、未収委託者報酬が6億73百万円の増加、仕掛販売用不動産が18億37百万円の増加、投資有価証券が49億59百万円の増加となっております。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億89百万円減少し、162億42百万円となりました。主な増減内訳は、リース債務が6億51百万円の減少、未払手数料が4億15百万円の増加、未払金が11億55百万円の減少、未払法人税等が6億70百万円の減少、賞与引当金が7億59百万円の増加、繰延税金負債が8億83百万円の増加となっております。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ35億35百万円増加し、370億43百万円となりました。主な増減内訳は、資本剰余金が3億35百万円の減少、利益剰余金が16億82百万円の増加、自己株式が1億34百万円の減少、その他有価証券評価差額金が18億99百万円の増加となっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	21,385	15,894
前払費用	456	504
未収入金	902	1,780
未収還付法人税等	9	40
未収委託者報酬	1,571	2,245
未収投資顧問料	1,477	1,821
預け金	203	387
仕掛販売用不動産	577	2,414
その他	285	217
貸倒引当金	△237	△207
流動資産計	26,631	25,100
固定資産		
有形固定資産	3,389	3,297
無形固定資産	12	18
投資その他の資産		
投資有価証券	19,468	24,428
差入保証金	181	185
長期前払費用	145	176
退職給付に係る資産	13	3
繰延税金資産	97	75
投資その他の資産合計	19,906	24,868
固定資産計	23,307	28,184
資産合計	49,939	53,285

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	2,000	2,000
1年内返済予定の長期借入金	—	5,000
リース債務	1,788	1,136
未払手数料	372	788
未払金	1,777	621
未払法人税等	1,444	773
預り金	33	59
賞与引当金	3	763
株式給付引当金	99	43
長期インセンティブ引当金	1	0
株主優待引当金	—	15
その他	467	649
流動負債計	7,988	11,852
固定負債		
長期借入金	7,000	2,000
株式給付引当金	181	163
長期インセンティブ引当金	1	1
役員株式給付引当金	—	0
繰延税金負債	682	1,566
その他	577	658
固定負債計	8,443	4,389
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	0	0
特別法上の準備金合計	0	0
負債合計	16,432	16,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,587	8,587
資本剰余金	1,481	1,146
利益剰余金	23,497	25,179
自己株式	△3,222	△3,087
株主資本合計	30,343	31,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,933	3,833
為替換算調整勘定	1,245	1,400
退職給付に係る調整累計額	△14	△15
その他の包括利益累計額合計	3,164	5,217
非支配株主持分	0	0
純資産合計	33,507	37,043
負債・純資産合計	49,939	53,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収益		
委託者報酬	7,109	7,698
投資顧問料	5,407	5,511
その他営業収益	426	474
営業収益計	12,944	13,684
営業費用及び一般管理費	7,617	7,621
営業利益	5,326	6,062
営業外収益		
受取配当金	26	27
受取利息	91	50
為替差益	44	21
持分法による投資利益	32	58
雑収入	20	51
営業外収益計	215	209
営業外費用		
支払利息	52	119
支払手数料	2	4
投資事業組合運用損	5	175
雑損失	8	4
営業外費用計	69	303
経常利益	5,473	5,968
特別利益		
投資有価証券売却益	—	777
特別利益計	—	777
特別損失		
投資有価証券評価損	—	167
特別損失計	—	167
税金等調整前四半期純利益	5,473	6,578
法人税、住民税及び事業税	2,003	2,029
法人税等調整額	162	75
法人税等合計	2,165	2,105
四半期純利益	3,308	4,473
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,321	4,473

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,308	4,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	572	1,899
為替換算調整勘定	△35	154
退職給付に係る調整額	0	△0
その他の包括利益合計	537	2,053
四半期包括利益	3,845	6,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,859	6,527
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の変動に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	164百万円	248百万円
のれんの償却額	27百万円	一百万円

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至2025年12月31日）

当社グループは、投信投資顧問事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。